



やなぎ美智子からののお便り

事務所：市川市鬼高2-5-16 清央荘101号室

メールアドレス：kangoshi03@outlook.jp

やなぎ携帯：090-1508-7120

パレスチナに平和を Peace For PALESTINE 誰も殺さないで！いましてすぐ停戦！

ガザ侵攻はただちに中止を



10月21日本八幡駅北口
緊急アクションに参加

人口が密集し、壁で囲われた狭いガザ地区への大規模な侵攻で、子ども、女性、罪のない市民に多数の犠牲が出ています。占領下で保護されるべき人々への無差別爆撃は許されません。イスラエルは、ただちにガザ地区への大規模侵攻を中止すべきです。

ハマスによるロケット弾攻撃、民間人を人質として連行することは、国際人権法違反です。いかなる理由でも、絶対に許せません。暴力の悪循環を絶ち、協議のテーブルにつくことが解決の道、中東和平への道です。

「イスラエルの占領地からの撤退」「パレスチナ独立国家樹立、民族自決権の実現」「イスラエルとパレスチナの生存権の相互承認」
関係各国と国際機関が、あらゆる外交努力をおこなうよう強く呼びかけます。

しんぶん赤旗10月号外より

10月6日 2024年度予算要望を田中市長に提出

- 「市民アンケート」では、前年より生活が苦しくなったと回答を寄せた方は増えていきます。その声を取り入れ、来年度の予算要望を提出しました。要望の一部を紹介します。
- 「ゴールドシニア事業（外出支援）」を次年度以降も継続すること
- 「带状疱疹ワクチン接種費用の助成」
- 「国保加入者のこれ以上の負担増は行わないこと」
- 「災害時のペット同伴避難所を増やすこと」
- 「インボイス制度で減収した場合の支援を行うこと」
- 「小中学校の教員が安心して働ける環境を早急につくること」
- 「職員が適材適所で力を発揮できるように努めること」



田中市長に要望書を提出する日本共産党市議会議員団

無料法律相談

11月14日（火） 12月12日（火） 午後2時～5時
市役所第一庁舎6階共産党控室

相談を希望される方は事前予約が必要です。市役所共産党控室か、やなぎ美智子にご連絡ください。

電話：047-334-1111（内線 18220）

9月28日

市民アンケートへの回答に基づき、現地調査し、要望をとりまとめて市側に提出しました

中山・若宮・本北方・北方・北方町・高石神

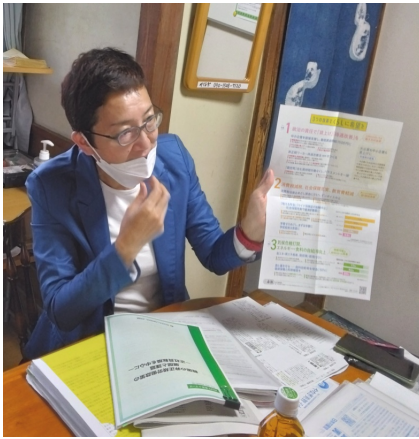


- やなぎは地域の要望書提出に同席しました。
- 道路に関する要望10項目、道路以外の要望13項目です。その中から一部を紹介します。
- 家の周りの土地が低く、大雨が降るたびに浄化槽が水没する。下水道整備を至急お願いします。
- 縁石コンクリートが目立たないので、ぶつかりそうになった。除去するか、目立つようにしてほしいです。
- 木が茂ってカーブミラーが隠れてしまっている。木の剪定をしてください。
- 道路の凸凹を平らにしてください。
- 危険な空き家への対処をお願いします。
- 引きこもり、知的障害、認知症の人たちが気軽に立ち寄れる場所がほしいです。

10月15日

「県・市の議会報告&何でも相談会」

鬼高・鬼越地域



日本共産党の「経済再生プラン」を語る浅野ふみ子県議

浅野ふみ子県議からは、議場での「ヤジ」がリアルに紹介されました。「県民からの請願書審議で、紹介議員が長々と質問するのはいかがと圧力があつた。ひるむことなく請願に向けて頑張る」と話しました。

やなぎからは、国民健康保険税値上げ・市営駐輪場民営化について報告しました。「高齢者支援を忘れないで」の声が市政に反映され、ゴールドシニアチケットが始まることなどを話しました。



質問に答えるやなぎ

10月19日

来年度国政予算要望交渉

日本共産党千葉県委員会



浅野ふみ子県議（左）が司会を務めました

文部科学省、厚生労働省、国土交通省、防衛省、内閣府に対し、来年度予算について要望交渉が行われました。

さいとう和子、はたの君枝、衆院南関東比例候補、浅野ふみ子県議をはじめ県内地方議員が参加しました。市川市議団からは、とくたけ純平市議が文科省と厚労省に、やなぎが国交省、防衛省、内閣府への交渉に参加しました。

やなぎは、市民アンケートに寄せられた「外環で緑が無くなった。広い空き地がもつたいない」との声を国交省に紹介し「外環道路側道の整備と植栽を早急に行うこと。外環道路建設で出来た空き地を、

市川市に無償譲渡すること」を求めました。

国交省からは「外環道路建設に際して、市川の皆さんに長い期間協力してもらっている。平成30年6月に開通してから側道の整備を進めてきた。電線共同溝の関係で整備事業が残っている。交差点付近の広いエリアは空き地ではなく、歩道である。市川市から要望があれば協議する」と回答がありました。

この回答を、今後の取り組みに活かしていきます。

防衛省に対し「成田空港の軍事利用はしないという空港開港時の合意を守ること」「国内外ともに武器見本市への出展は行わないこと。武器見本市への後援も行わないこと」「墜落、事故、緊急着陸をくりかえすオスプレイは、すべて飛行を中止すること」「他8項目の要望を行いました。

防衛省からは「官民で防衛装備品（武器）を推進したい。安保三文書は必要なツール（手段）だ。オスプレイは高い性能をもつ安全性が確認がされている航空機だ」との驚きの答弁でした。

「戦争準備はダメだ」と叫びたい心境にかられました。